

令和元年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人憩いの家(8施設)
(2)施設概要	<p>施設の設置目的 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための憩いの場を 供与し、心身の健康の増進を図る。</p> <p>①三橋老人憩いの家 所在地 さいたま市大宮区三橋2-59 開設年月 昭和56年4月 構 造 スレート造 2階建(三橋児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>②三橋老人憩いの家分館分館 所在地 さいたま市大宮区三橋2-259-1 開設年月 平成14年12月 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設 和室、小会議室、大会議室兼レクリエーション室 ギャラリー</p> <p>③天沼老人憩いの家 所在地 さいたま市大宮区天沼町1-194 開設年月 昭和59年4月 構 造 スレート造 2階建(天沼児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>④宮原老人憩いの家 所在地 さいたま市北区宮原町4-66-13 開設年月 昭和60年4月 構 造 スレート造 2階建(宮原児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑤植水老人憩いの家 所在地 さいたま市西区中野林174-1 開設年月 平成2年4月 構 造 スレート造 2階建(植水児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑥本郷老人憩いの家 所在地 さいたま市北区本郷町1065-3 開設年月 平成3年4月 構 造 スレート造 2階建(本郷児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑦片柳老人憩いの家 所在地 さいたま市見沼区東新井710-78 開設年月 平成4年7月 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建(片柳児童センター)の一部 主な施設 ふれあいの間</p> <p>⑧春野老人憩いの家 所在地 さいたま市見沼区春野1-7-1 設置年月 平成6年7月 構 造 鉄筋コンクリート造 2階建(春野保育園)の一部 主な施設 ふれあいの間</p>

(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4) 指定期間、指定管理料	①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 ②指定管理料 平成29年度 8,859千円 平成30年度 8,859千円 令和元年度 7,747千円
(5) 施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数39,754人(前年度41,516人) ◇業務実施状況 ・今年度から新たな指定管理期間が始まり、「シニア世代の生きがい、やりがいに応援し、地域の中で笑顔でつながる老人憩いの家」を目指すことを基本方針として運営を行った。 ・「さいたま市誰もが安心して長生きできるまちづくり条例」のもと、地域の高齢者に向けて教養の向上やレクリエーション等の場を提供し、心身の健康の増進を図るとともに、健康で活力のある生活が送れるよう、各種の事業運営を行った。 ・令和2年3月2日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全館休館となったが、利用者への案内や問い合わせへの対応、再開後に備えての団体予約の受付等のため、人員を配置し利用者対応に努めた。 ②維持管理業務の状況 ・高齢者に起こりうる事故の防止対策、安全管理の体制づくりを行い、状況に応じたりスク管理に努めた。(施設整備・備品の日常点検等) ・災害時に役立つ備品の整備、飲料水、非常食の備蓄を行った。 ・消防法規定に基づく法定点検を実施し、安全確保に努めた。 ③その他の業務 演芸大会、利用者懇談会、避難訓練、世代間交流行事(昔あそび、保育園児との交流事業、焼き芋パーティ、折り紙教室、卓球・囲碁/将棋・手話ダンス教室、じゃがいも堀り、書初め教室、手芸教室)、憩いの家8館合同親善囲碁大会、三味線演奏会、ラジオ体操、各種サークル活動、カラオケ、介護予防講話、健康体操、地域の老人クラブ及びサロン活動等への派遣事業、映画会、いちにち健康教室(栄養士・理学療法士・薬剤師の講話)
(6) 収支状況	①収入 ・老人福祉事業収入 6千円 (前年度 1千円) ・指定管理料収入 7,747千円 (前年度8,859千円) ・その他 10千円 (前年度 10千円) ②支出 ・事業費 613千円 (前年度 717千円) ・事務費 1,156千円 (前年度 396千円) ・施設管理費 4,694千円 (前年度 5,806千円) ・繰入金 670千円 (前年度 670千円)

<p>(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等 への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に施設に対する意見や要望を伝えられる仕組みとして、利用者が使いやすい場所に「みなさまの声」ボックス(意見箱)を設置して利用者の意見を伺うとともに、寄せられた意見への回答を書面をもって公表し、サービスの向上に努めた。 ・利用者アンケートを7施設(※)で実施し、全体的な意見の傾向を把握するとともに、自由記述欄において個別の要望や意見をうかがい、利用者のニーズを施設運営に反映させるべく努めた。 <p>(※植水は中規模修繕実施による休館のため、アンケート未実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設で利用者懇談会を開催し、利用者同士の意見交換や施設への要望をうかがうことを通して運営の改善に努めた。 ・各施設及び法人事務局に苦情受付担当者、苦情解決責任者を置くとともに、第三者委員を配置し、苦情への迅速な対応と解決に努めた。
<p>(8) その他</p>	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	<ul style="list-style-type: none">・介護や介護保険に関する講座、軽運動教室、認知症に関する講話等を開催し、高齢者が楽しみながら身体を動かしたり、介護予防についての具体的な方法を知り、日常的な健康づくりに対する意欲を高めたりできるような取組を行った。・高齢者が気軽に専門職のスタッフに相談できるような機会を提供し、関係機関の健康相談等各種相談事業の広報活動を実施するなど、高齢者及び家族の「悩み」や「困りごと」に寄り添う取組を継続的に行った。
生きがいづくりの支援	<ul style="list-style-type: none">・囲碁、将棋、手芸、工作教室、百人一首の会、映画会、カラオケ等を開催し、高齢者が趣味活動を深めながら、利用者相互の親睦を深めることができる場を提供し、生きがいづくりの支援を行った。・日頃の活動の成果を発表する場として、演芸大会や作品展示、憩いの家8館合同親善囲碁大会等を実施し、楽しみながら活動への意欲を高められるよう支援を行った。・市の推進する「ますます元気教室」修了者による団体を自主活動の場として受け入れ、継続的な活動支援を行った。
支え合う活力あるまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none">・地域のシニアクラブや自治会主催の高齢者向けレクリエーション活動等に職員派遣を行い、高齢者が住み慣れた地域で健康で生き生きとした生活を送れるよう、軽運動や季節感のあるレクリエーションプログラムを提供した。・地域包括支援センターや地区社会福祉協議会、消防署、保育園、民間企業等と連携し、講話や避難訓練、交流事業等、地域の各機関と連携し、専門的かつ多彩な事業展開を行った。
児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	<ul style="list-style-type: none">・児童センター併設という利点を生かし、焼き芋パーティやお楽しみ会、囲碁交流会、三味線演奏会、ふれあい卓球等、児童(保護者)と高齢者の世代間交流事業を実施し、世代を超えた温かい心の交流の場を提供した。・高齢者が社会貢献を通じて生きがいを感じられるよう、卓球教室、将棋教室、囲碁教室、手話ダンス、書初め教室、手芸教室等において、趣味や特技を生かした高齢者ボランティアの積極的な活用を行った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価	<p>・新たな指定管理期間が始まり、「シニア世代の生きがい、やりがいを応援し、地域の中で笑顔でつながる老人憩いの家」を目指すことを基本理念とし、さらに「介護予防と健康づくりの促進」「生きがいづくりの支援」「支え合う活力あるまちづくりの推進」「児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供」という4つの基本目標のもと、運営にあたることとした。</p> <p>・特に、シニアクラブや地域包括支援センター等関係機関と連携を図りながら、地域の高齢者が、住み慣れた地域で健康で生きがいのある明るい生活を営めるよう、既存事業の更なる活性化やニーズに応じた新規事業への取組を進めた。</p> <p>・既存事業の活性化については、各種サークル活動等の支援のほか、館主催事業である健康体操、ラジオ体操、利用者懇談会等、また、地域の関係機関との共催事業の内容の充実を図った。例えば、定例事業「健康サークル」に地域運動支援員による体操指導を取り入れることにより、利用者の満足度の向上につなげたり、地区社協の依頼を受け、館外での季節のレクリエーション行事に職員派遣を行う等、多彩な事業展開を行った。</p> <p>・新規事業としては、三味線演奏会、保育園児との交流事業等が挙げられる。いずれも地域からの要望を受けて実現させた世代間交流事業であり、参加者にご満足いただくことができた。</p> <p>・その他、マニュアルを活用した施設内研修や、様々な災害を想定した避難訓練、スキル向上のための各種研修を実施し、利用者サービスの一層の向上及び効率的な事業運営を図るよう努めた。</p> <p>・利用率向上のための基本姿勢として、「積極的な声かけと話しやすい雰囲気づくり」を目標とし、利用者アンケートでは「職員の言葉遣いや接し方」について、97.5%の方に「親切」や「丁寧である」との評価をいただいた。また、「職員からの説明」および「傾聴態度」についても90%以上の利用者から肯定的な回答をいただくことができた。</p> <p>・今後も多くの高齢者に継続してご利用いただけるような居心地の良い施設を目指し、適切な対応を心がけていく。</p>
----------------	---

(2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

<p>総合評価 (B) ※A～D</p> <p>【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組】 児童センター併設という特性を活かした様々な催しを行い、世代間交流の場を創出した点を評価した</p> <p>【経費の削減に関する取組】 予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。</p> <p>【適正な管理運営の確保に対する取組】 地域包括支援センターや地区社会福祉協議会、地域の各機関と連携し、多彩な事業展開を行った点を評価した。</p>

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

<p>引き続き、適切な管理運営に努めてください。</p>
